

教務関係等

1. 履修

専門教育科目の履修には、教養基礎教育科目のような受講手続及び受講計画は不要であるが、授業時間割表に従って各学年指定の授業を受講する。

授業時間は次のとおりである。(1年間固定されていて季節による変更はない。)

1～2 時限	8：50	～	10：10
3～4 時限	10：20	～	11：40
5～6 時限	12：50	～	14：10
7～8 時限	14：20	～	15：40
9～10 時限	15：50	～	17：10

2. 試験

試験は、本学部規程及び本学部試験内規により実施する。

各科目とも講義時間の3分の2以上出席し、かつ所定の実習を終えた者でなければ受験資格がみとめられない。

なお、親族の葬儀や学校保健安全法施行規則に規定する感染症、その他やむを得ない理由により試験を欠席する場合の取扱いについては、秋田大学医学部医学科における授業の欠席取り扱い申し合わせに準ずる。

3. 試験における不正行為

試験において不正行為を行うことは学生の本分に反する重大な違背行為です。試験に際し不正行為を行った者については、教養基礎教育科目と専門教育科目の区分を問わず、当該学期に履修した全ての科目について成績評価を行わないこととし、所属する学部の学部長から厳重注意を行います。また、不正行為の内容によっては懲戒の対象とする場合があります。(秋田大学教養教育科目及び基礎教育科目の成績評価に関する規程・第8条及び筆記試験実施における不正行為の取扱いに関するガイドライン)

○ 不正行為の定義

次のことを不正行為とみなす(ただし、事前に許可された物品の使用等は除く)。

- ① 受験科目の内容を記入した物品を使用又は身の回りに所持する。
- ② 机や身体等に不正な書き込みをする。
- ③ 教科書・参考書・ノート・プリントを使用又は身の回りに所持する。
- ④ 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・電子辞書・電卓等の電子機器類を使用又は身の回りに所持する。
- ⑤ 他人の答案を筆写する、または筆写させる(周囲に見えるように答案や姿勢をずらすことを含む)。
- ⑥ 私語・動作等によって不正な連絡をする。
- ⑦ 他人の答案用紙と交換する。
- ⑧ 本人以外の者が受験する。
- ⑨ その他、上記に準じる行為及び成績評価や試験実施に支障が生じる行為。

4. 進 級

進級できる条件は、次のとおりである。

- ① 1年次において、教養基礎教育科目履修基準及び別表第2に定める当該年次の専門教育科目履修基準を満たし、かつ、統一試験に合格しなければ、同表に定める2年次の専門教育科目を履修することができない。
- ② 2年次において、別表第2に定める当該年次の専門教育科目履修基準を満たし、かつ、統一試験に合格しなければ、同表に定める3年次の専門教育科目を履修することができない。
- ③ 3年次において、別表第2に定める当該年次の専門教育科目履修基準を満たし、かつ、統一試験に合格しなければ、同表に定める4年次の専門教育科目を履修することができない。
- ④ 4年次において、別表第2に定める臨床医学IIIの科目、医療・社会・行動科学IVの科目及び選択科目を修得し、かつ、統一試験、O S C E 及びC B T（以下この号において「統一試験等」という。）に合格しなければ、同表に定める臨床医学IVの科目を履修することができない。また、臨床医学IVの科目を修得しなければ、5年次の専門教育科目を履修することができない。ただし、統一試験等に合格した後に、休学等により留年となった場合は、臨床医学IVの未履修科目を修得すれば、5年次専門教育科目の履修要件を満たすものとする。
- ⑤ 5年次において、別表第2に定める臨床医学Vの科目を修得しなければ、臨床VIを修得することができない。また、臨床医学VIの科目を修得しなければ、6年次の専門教育科目を履修することができない。
- ⑥ 6年次において、別表第2に定める臨床医学VIIの科目を修得しなければ、卒業試験（O S C E を含む）を受けることができない。

5. 卒 業

6年次における卒業試験、O S C E に合格し、卒業の認定をされた者に対しては、学位記を授与し、「学士（医学）」の学位を授与する。しかし、これだけでは医療業務に従事することはできない。

「医師国家試験」に合格し、医師免許を取得して初めて医師となる。

秋田大学医学部医学科における授業の欠席取扱い申し合わせ

(趣旨)

秋田大学医学部医学科の学生が親族の葬儀や学校保健安全法施行規則に規定する感染症、その他やむを得ない理由により授業を欠席する場合の取扱いについて、以下のとおり定めるものとする。

第1 本学は公欠の制度ではなく、いかなる理由による欠席でも公に出席として取り扱うこととはできないが、正当な理由による欠席として認められ、補講・補習・レポート課題を課すなど欠席の補填措置が行われた場合は欠席数に加算しない。

第2 欠席の正当な理由として認められる事項

欠席の正当な理由として認められるのは次の事項とする。

- ①親族の死亡（会葬通知、礼状等の写しを添付）
(親族に応じ連続する次の日数)
 - ・父母、配偶者、子：7日以内
 - ・兄弟姉妹、祖父母：3日以内
 - ・おじ又はおば：1日
- ②災害の被災、災害等による交通機関の遮断（遅延証明書、事故証明書などを添付）
- ③負傷又は疾病（医療機関の領収書、医師の診断書、理由書などを添付）
- ④学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症の罹患（医師の診断書を添付）
- ⑤裁判員としての職務に従事するなど法令に基づく場合（証明書類等を添付）
- ⑥国際大会、全国大会、東日本医学生体育大会、北日本医学生体育大会の出場（大会に選手登録されている場合のみが対象、実施要項、選手登録されていることを証明する書類等を添付）
- ⑦学会等の学術発表（開催日時、発表者等が明記された書類を添付）
- ⑧その他、医学部長が必要と認めた場合（適宜、証明書類等を添付）

第3 欠席届の作成・確認・提出

上記の正当な理由による欠席に対し、学生は該当する授業の担当教員に相談した後に、欠席届を作成し、①～⑤の事項の場合は学年担任（学務委員）、⑥の事項では課外活動団体顧問教員等、⑦の事項では学術発表の指導教授等が確認して署名・押印した後、学務課に提出する。学務課は欠席届の写しを学務委員長に送り、学務委員長が正当と判断した場合には、医学部長の承認を得て、医学部長名にて学生が欠席した授業の担当教員へ欠席届の写しを送付するとともに、配慮をお願いする。欠席届の写しを受け取った授業の担当教員は、当該学生に対し補講・補習・レポート課題を課すこと等ができる。

第4 正当な理由で欠席した学生への配慮

補講・補習・レポート課題を課すこと等、欠席の補填措置が行われた場合は、欠席数に加算しない。

専門教育科目履修基準

別表第2 (医学科)

区分	分類	授業科目名	履修年次	単位数	備考
必修科目	基礎医学 I	細胞の構成と機能I 生体物質の代謝I	1年次	0.5 0.5	
		細胞の構成と機能II 生体物質の代謝II		0.5 1	
	基礎医学 II	人体解剖学入門 個体の発生 個体・細胞の分子生化学 骨学実習 生体分子解析学実習		0.5 1 1 0.5 2	
		医療・社会・行動科学 I		3	演習を含む
		個体の構成 組織学 臓器の機能 I 人体解剖学実習 組織学実習		2 1 4 6 2	
	基礎医学 III	臓器の機能 II 生体と微生物 免疫と生体防御 生体と薬物 生体と放射線・電磁波・超音波 原因と病態 生体機能学実習 感染症・生体防御学実習 病理学実習		1 1 1 2 0.5 3 2 2 1	
		医療・社会・行動科学 II		1 1 1	
	研究配属	研究配属		6	
		循環器 呼吸器 消化器 加齢と老化 内分泌・栄養・代謝		3 2 3 0.5 2	
	臨床医学 I	神経 運動器（筋骨格） 血液・造血器・リンパ リハビリテーション 乳房 女性生殖器 免疫・アレルギー疾患・膠原病 腫瘍 妊娠と分娩 成長と発達 腎 尿路・男性生殖器 耳鼻・咽喉・口腔 放射線診断と治療	3年次	3 2 2 1 0.5 1 1 0.5 1 2 1 1 1 1 1	
		医療・社会・行動科学 III		1 1 1 1 1	
		皮膚 眼・視覚 麻酔 薬物治療の基本原理 外科治療と周術期管理 救急疾患 物理・化学的因子による疾患		1 1 0.5 1 0.5 0.5 0.5	

	基本的診療技能 総合診療・臨床検査 精神	4年次	4 1 2	
医療・社会・行動科学 IV	診療情報 医療における安全性確保 人の死・死と法		0.5 0.5 1	
臨床医学 IV	医学医療総合講義 I 臨床実習 I		2 20	
臨床医学 V	医学医療総合講義 II 臨床実習 II	5年次	2 14	
臨床医学 VI	臨床実習 III		26	
臨床医学 VII	臨床実習 IV	6年次	14	
	小計		173.5	
区分	分類	授業科目	履修年次	単位数
選択科目	基礎医学アドバンスコース	細胞生物学	2年次	1
		衛生学・公衆衛生学		1
		生体防御学		1
		医学教育学 I		1
		器官・統合生理学		1
		微生物学		1
		細胞生理学		1
		病理学 I		1
		病理学 II		1
		分子機能学・代謝機能学		1
		形態解析学・器官構造学		1
		医療情報学		1
		情報制御学・実験治療学		1
		医学教育学 II		1
		分子生化学		1
選択科目	臨床医学アドバンスコース	歯科口腔外科学	4年次	0.5
		整形外科学		0.5
		心臓血管外科学		0.5
		救急・集中治療医学		0.5
		消化器外科学・消化器内科学・食道外科学		1
		血液・腎臓・膠原病内科学		0.5
		眼科学		0.5
		放射線医学		0.5
		胸部外科学 I		0.5
		精神科学		0.5
		胸部外科学 II		0.5
		皮膚科学・形成外科学		0.5
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学		0.5
		小児外科学		0.5
		総合診療・検査診断学		0.5
		脳神経外科学		0.5
		腎泌尿器科学		0.5
		麻酔・蘇生・疼痛管理学		0.5
		産婦人科学		0.5
		代謝・内分泌内科学		0.5
		小児科学		0.5
		循環器内科学		0.5
		呼吸器内科学		0.5
		臨床腫瘍学		0.5
		リハビリテーション		0.5
	合計	小計		4
		計		177.5

医学部医学科 医学部長 羽渕 友則

講 座	職 名	氏 名	学内電話	研究 室
臨 床 医 学	助 教	武司紀剛 大国恍子 敦子 子昇き 裕明光 純人 弘介 二奏 彩也 介子 穂子 子輝 地一馬之紀亮	6135 6148 6153 6126 3479 6156 6171 6159 6422 6104 6175 6104 6126 6140 6148 6163 6179 6110 6171 6104 6261 6110 6122 6116 6140 6175 6179 6122 6156 6135 6163 6167 6153 6110 6143	臨床医学研究棟
		玄光真 雄明 篤 幸夏 ゆ隆 泰弘 雅智 和陽 耕和 鷹佑 早倫 倫相 大健 竜雅 輝		
		浦坂 藤邊 藤 泉口 賀田 本部 部野 島澤 田木名 平田 藤西 下橋 玉木 谷島 木野 田田 藤部		
		山野 加渡 佐黄 小野 大謙 山渡 阿小木 白松 鈴椎 下福 佐今 山高 小高 細嘉 高牧 鎌山 佐渡		

診療科	職名	氏名
第一内科	講師 〃 助教 〃	菅原正伯 小泉重仁 高橋健一 千葉充
第二内科	助教 〃 〃 〃	関勝仁 寺田健介 高木祐弘 岩川英弘
第三内科	講師 助教 〃 〃 〃	吉岡智子 池田翔一 加賀雅也 齋藤也人 阿部史人
老年科	講師	森井宰
第一外科	助教 〃	飯田正毅 中川康彦
第二外科	講師 〃 助教 〃	寺田かおり 高嶋祉之具 脇田晃行 高橋絵梨子
脳神経外科	講師	高橋和孝
小児外科	助教	森井真也子
小児科	講師 〃 助教 〃	矢野道広 高橋郁子 田村啓成 安達裕行
産科婦人科	講師 助教 〃	三浦広志 佐藤亘 菅原多恵
精神科	講師 〃 助教	竹島正浩 石川博康 川北雄太
整形外科	講師 〃 助教	本郷道生 粕川雄司 永澤博幸
皮膚科	助教 〃 〃 〃	手塚崇文 山川岳洋 能登舞 豊嶋あや

診療科	職名	氏名
泌尿器科	講師 助教 〃 〃	沼倉一幸 奈良健平 小泉淳平 山本竜平
眼科	助教	阿部早苗
耳鼻咽喉科	講師 助教	川寄洋平 飯川延子
放射線科	助教 〃 〃	吳(大谷)隆浩 菅原真子 笛嶋素智 戸沢樹智
麻酔科	講師 助教 〃 〃	合谷木徹 安部恭子 佐藤浩志 吉中島麻衣子
リハビリテーション科	助教	齊藤英知
歯科口腔外科	准教授 講師 助教 〃 〃	福田雅幸 高野裕史 五十嵐秀光 今野泰典 福地峰世
中央放射線部	准教授 助教	石山公一 古賀誠
集中治療部	助教	堀越雄太
輸血部	講師	奈良美保
血液浄化療法部	准教授	齋藤満
病理部	准教授	南條博
周産母子センター	准教授	熊澤由紀代
総合臨床教育研修センター	特任准教授 特任講師	守時由起 岡崎三枝子
肝疾患相談センター	特任講師	佐藤亘
薬剤部	講師	赤嶺由美子
医療安全管理部	准教授	木村哲
腎疾患先端医療センター	教授	佐藤滋
臨床研究支援センター	助教 〃	北館明宏 藤山信弘

講 義 室 設 備 状 況

2022年3月現在

教 室	収容定員 (試験時)	マイク設備	ビデオ設備等	スクリーン
基礎棟 第1講義室	178 (118)	ワイヤレス 2	・液晶プロジェクター ・DVD内蔵VHSデッキ	正面 1 テレビモニター 左右各1台
基礎棟 第2講義室	220 (137)	ワイヤレス 3 ピンマイク 1	・液晶プロジェクター ・DVD内蔵VHSデッキ	正面 1
医学系研究棟 総2講義室	120 (60)	ワイヤレス 2 ピンマイク 1	・液晶プロジェクター ・DVD内蔵VHSデッキ	正面 1
医学系研究棟 総6講義室	240 (150)	ワイヤレス 2 ピンマイク 1	・液晶プロジェクター ・DVD内蔵VHSデッキ	正面 1 テレビモニター 右側1台
附属病院2階 多目的室	284 (180)	ワイヤレス 3 ピンマイク 1	・液晶プロジェクター ・DVDプレイヤー	正面 1 テレビモニター 左右各1台